

**私たちは食にたずさわる者として、
一刻も早い放射能被害の救済と速やかな脱原発を要求します**

2011 年 9 月 22 日

(株)メディカルフーズはぁもにい
職員一同

3月11日に発生した東日本大地震はかつてない規模の津波被害と共に信じられないほどの放射能汚染をもたらしました。地震や津波被害による現地の惨状を聞いた私たちは、同じ人間として何かしら支援の力になりたいと強く思い、3度の現地炊出しと2度の物資搬送さらには募金や支援バザー、キーマカレー販売を行ってきました。街や暮らしを元に戻すにはまだまだ時間とお金がかかりますが、それでも復興に向けた着実な歩みが始まっています。私たちもできる限りの支援を継続します。

しかし、福島原発事故による放射能被害はさらに影響の広がりをみせており、日本全体に深く広く不安の影を落としています。特に懸念されるのが食物への影響です。食物は大地の恵みです。その大地が放射能により汚染され、生命の輝きを生みだすはずの食物が生命の危険をつくりだそうとしています。私たちは食にたずさわる者として、声を大にして脱原発を要求します。原発の危険性は多大な犠牲を伴ってすでに立証されました。安全な原発は存在しません。

私たちは食の安全と安心を守るために以下のことを要求し行動します。

- 原発の速やかな廃止と共に、クリーンエネルギー政策の確立を要求します。
- はぁもにいの個人と全職員が原発の危険性について学び、根拠のある確信を強めます。
- 署名や宣伝を通じて脱原発の世論を広めます。

